

患者様へ

臨床研究課題名：

『肝臓疾患に対する外科的治療の有効性と安全性を評価する観察研究』への参加についての説明

1. 研究の目的：

手術技術の進歩に伴い、肝臓癌、肝嚢胞などの肝臓疾患に対する肝臓外科治療は以前より安全に施行できるようになってきました。一方で、肝臓疾患は再発率が高いため、綿密な術後の検査を行う必要があります。従って、これら肝臓疾患に対する外科治療成績を客観的に把握することは、今後のこの領域における外科治療の発展に必須であると考えられます。本研究は当科で行ってきた過去、現在、そして今後行う肝細胞癌、転移性肝臓癌、肝嚢胞性疾患を始めとする肝臓疾患に対する外科的治療を中心とした治療成績を解析することにより、様々な治療法の有効性と安全性を評価し、さらなる成績向上に向けた課題を明らかにする事を目的とします。具体的には手術術式と術後合併症、疾患の再発、および死亡などとの関連、また再発や死亡に至ったりリスクなどを検討します。

研究期間：倫理委員会承認後から 2027 年 12 月 31 日

2. 対象者：

当院で 2003 年 1 月～2027 年 5 月の期間で、肝細胞癌、転移性肝臓癌、肝嚢胞性疾患をはじめとする肝臓疾患により手術を受けた、または今後予定されている患者様。

3. 方法：

患者様の手術前、手術後の診療情報を用いて、手術による合併症、術後再発、死亡との

関連などを調べます。

4. 使用する資料・情報

当院に収蔵されている患者様の診療録、または電子カルテから診療情報を調べさせていただきます。

5. 保有する個人情報

得られた結果は学会発表や論文発表で使っていただく場合もございますが、個々の患者様が特定できる様な個人情報は一切省き、データは匿名化して使用します。

6. 保有する個人情報の開示手続：

個々の情報をご本人に開示する事は積極的には行いません。どうしてもお知りになりたい場合、下記までご連絡下さい。

7. 情報の二次利用の可能性：

本研究で得られた情報以外にも、有意義な結果が得られた場合には、その結果を使用して、研究させていただく可能性があります。

8. 本研究への参加を希望されない場合：

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

9. 本件に関するお問い合わせ先：

本研究について何かお知りになりたいことや、疑問な点がありましたら、担当医師に遠慮なくおたずねください。

本試験の責任医師：高橋 一広（筑波大学 医学医療系 消化器外科 講師）

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-3221 （消化器外科、平日 9:00～17:00）

029-853-3110 （救急外来、上記以外の時間帯）

※担当医師または消化器外科の医師を呼び出して下さい。